

佐嘉神社



贈従一位 大納言
佐賀藩第10代藩主
なべしま なおまさ (かんそう)
鍋島直正 (閑叟) 命
文化11年(1815)～明治4年(1871)



従一位 勲一等 侯爵
佐賀藩第11代藩主
なべしま なおひろ
鍋島直大 命
弘化3年(1846)～大正10年(1921)

佐嘉神社は幕末の佐賀の名君として名高い10代藩主鍋島直正(閑叟)公・11代藩主直大公をお祀りする旧別格官幣社です。閑叟公のご遺徳を敬慕してやまない旧藩士民の熱誠により昭和8年(1933)に創建され、昭和23年には直大公も合祀されました。

現在のご社殿はご創建の際に当時の技術を結集して造営されたもので、現存する戦前の大規模な神社建築として大変貴重なものです。

ご創建以来「佐賀の守り神さま」として、またご祭神のご事績から「学業の神」「交通の神」「文化の神」「産業の神」などとして人々の厚い崇敬を集めています。



①七賢人の碑

閑叟公はじめ明治維新の原動力となった佐賀の七賢人(鍋島閑叟・大隈重信・江藤新平・副島種臣・佐野常民・島義勇・大木喬任)の有田焼の写真陶板がはめ込まれています。
昭和60年、佐賀第一ライオンズクラブより献納されました。

②カノン砲(復元)

嘉永3年(1850)佐賀藩が日本で最初に鑄造に成功した鉄製大砲で、国防の為江戸の品川砲台(現在の東京お台場)に据えられました。
昭和55年、佐賀県機械金属工業会連合会により復元・献納されました。



③アームストロング砲(復元)

佐賀藩のアームストロング砲は、ご祭神閑叟公の命により導入・開発され、戊辰戦争等でも大いにその威力を発揮したもので、当時の佐賀藩の技術力・軍事力の高さがうかがわれます。
平成元年、佐賀県機械金属工業会連合会により復元・献納されたものです。



④忠勲の碑

ご祭神閑叟公は明治天皇のご信任厚く、明治4年薨去の際には特に勅使を差し遣わされ贈正二位の位記と宣旨を賜りました。
この「忠勲の碑」は、同じくご祭神の直大公がイタリアに公使として赴任された際、随行した百武兼行等が持帰ったローマ産の大理石に閑叟公が賜った宣旨を刻んだもので、題字は直大公、碑文は副島種臣の筆によるものです。



⑤松根社

古川松根命は幼少の頃から閑叟公の側近として終生お側に仕え、国事に奔走される公を文字通り陰に日向に支え続けました。
明治4年閑叟公薨去の3日後殉死を遂げられましたが、今もなお生前同様に閑叟公のお側に寄り添うようにお祀りされ、当時一流の文化人としても知られた命のご事績にちなみ、学業・諸芸上達の神として信仰を集めています。

松原神社



なべしま なおしげ
鍋島直茂 命
日峯大明神
天文7年(1538)～元和4年(1618)
贈従三位 加賀守
佐賀藩祖

(公財) 鍋島報效会所蔵



りゅうぞうじ たかのぶ
龍造寺隆信 命
深恭明神
享祿2年(1529)～天正12年(1584)
従五位下 山城守

(公財) 鍋島報效会所蔵

直茂公室 **彦鶴姫 命** 陽泰大明神

平右衛門尉 **鍋島清久 命** 伝心大明神

従四位下信濃守 **鍋島勝茂 命** 佐賀藩初代藩主

従四位下肥前守 **龍造寺政家 命** 功勝明神

従五位下駿河守 **龍造寺高房 命** 通豊明神

松原神社は佐賀藩祖鍋島直茂公(日峯大明神)をお祀りする神社として明和9年(1772)、佐賀藩8代藩主鍋島治茂公により創建されました。現在は直茂公はじめ佐賀のまちの礎を築かれた鍋島家・龍造寺家の7柱の神々をお祀りしています。

「佐賀の守り神さま」として親しまれ、とくに戦国武将として名高い直茂公・隆信公のご事績から「必勝の神」「武芸上達の神」として、また直茂公・彦鶴姫さまご夫妻の夫婦円満にあやかって「縁結びの神」「夫婦和合の神」として崇敬を集めています。

⑥兵主部(ひょうすべ)の木像

兵主部は松原川に居た河童の頭目で、直茂公により改心させられ、この地方の水の守りとなったと伝えられています。
松原神社神門の長押上にはこの故事に因む兵主部の木像が掲げられ、古くからこの門をくぐりお参りすれば水難にあわないという信仰があります。



⑦とんさん恵比須

佐賀の街角には至るところに恵比須像が祀られ、その数日本一と称される恵比須さまのまちです。
「とんさん恵比須」は高さ約3m、文字通りの佐賀の恵比須さんの「殿さん(とんさん)」です。

⑧白磁の鳥居 ⑨白磁の燈籠

佐賀の代表的な産業といえば有田や伊万里の陶器が有名ですが、その起源は豊臣秀吉の朝鮮出兵の際、直茂公が連れ帰った陶工たちに由来します。
有田・伊万里の陶工たちは直茂公を「ご神祖さま」として厚く崇敬し、当社にも白磁の鳥居や燈籠が奉納されています。

